

令和6年能登半島地震・令和6年奥能登豪雨 土砂災害箇所の復旧・復興のあゆみ

令和8年1月13日 No.5

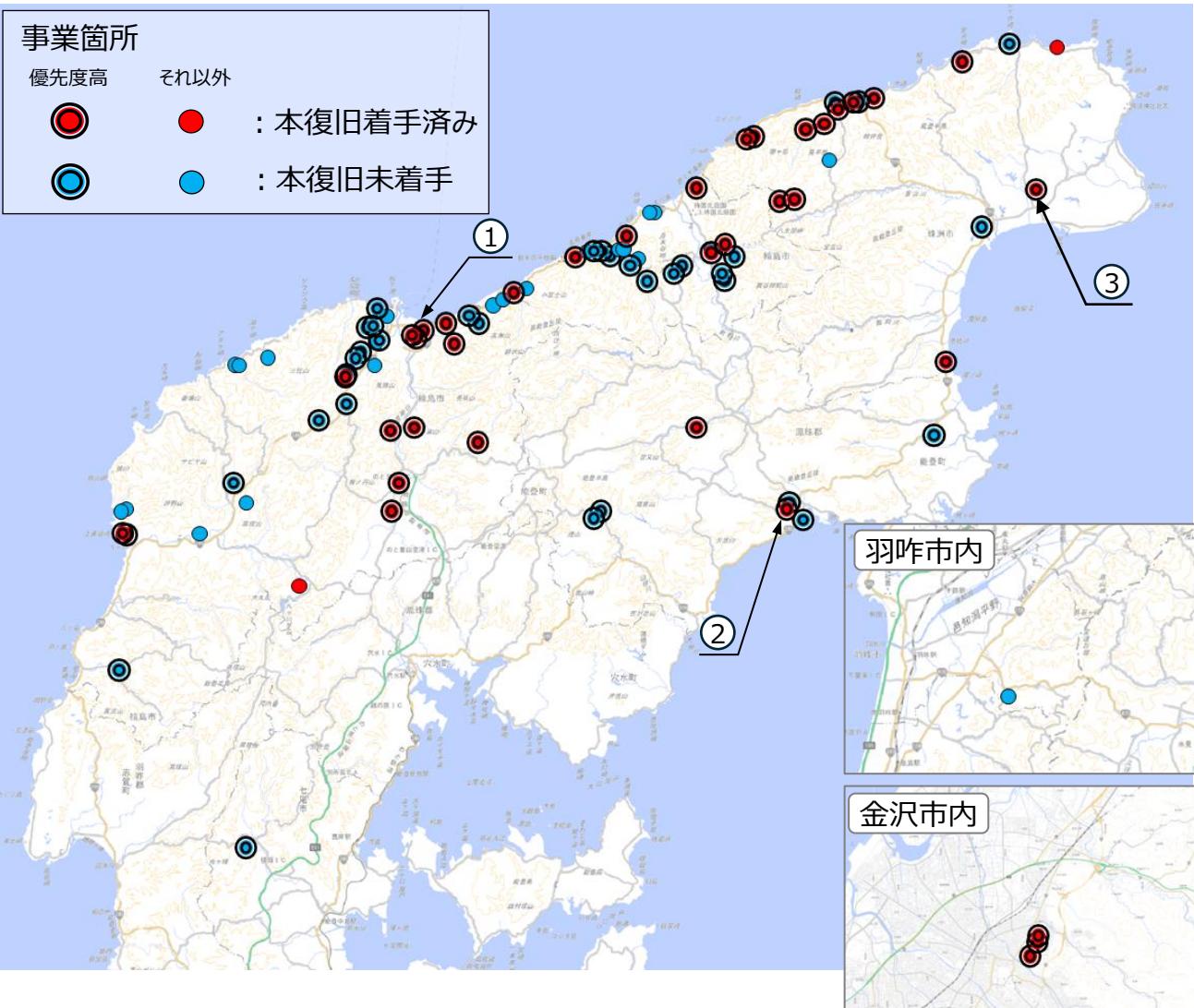
土砂災害箇所の復旧状況

地震や豪雨では、多くの土砂災害が発生しました。このうち、人家や道路に隣接し二次災害のおそれがあるなど、特に対応が必要な69箇所については、**令和7年梅雨前までに応急復旧を完了させました。**

県土木部では、大規模な土砂災害が発生した94箇所について、地すべり防止施設や砂防堰堤等の**恒久的な砂防施設の整備**を行うほか、**被災した砂防関係施設の本復旧工事を進めること**としています。

人家へ特に甚大な被害を及ぼす恐れのある箇所を優先して、順次、工事に着手しており、今後も、関係者と協力しながら、土砂災害対策工事の早期完了を目指します。

事業箇所	
優先度高	それ以外
●	● : 本復旧着手済み
○	○ : 本復旧未着手



復旧工事の進捗状況

被災した砂防施設の本復旧を進めています。



①小峰山（輪島市河井町）

土砂災害が発生した箇所の対策工事を進めています。



②藤波（能登町字藤波）



③飯塚（珠洲市正院町飯塚）